

松原 保嗣
Matsubara Yasushi



1973年1月12日 岐阜市芋島（旧長森芋島）この世に誕生する。名城大学・商学部卒。名古屋総合デザイン専門学校卒。

卒業後、商業施設の大手ゼネコン、株式会社バウハウス丸栄に入社。主に物販店と飲食店の設計デザイン業務に3年半従事する。

その後、2年間渡豪、日本以外に目を向ける機会を得る。帰国後、東京のスポーツ関連会社でマネージャー職を1年間経験。その会社の社長職候補の命を受けるが、血迷った挙句一大奮起して地元岐阜に帰り、有限会社 M' s associates 設立。代表取締役就任。店舗・空間デザイン業務を主としスタート。住宅方面の仕事が多くなり、組織変更を経て 現 株式会社エムズアソシエイツ 代表取締役就任。
よい家づくり研究家。

あなたの人生を、より豊かなものにするための確かな一歩を：

はじめに

家を建てる前には、誰もが必ず不安になります。

「家をそろそろ建てたいんだけど、何から始めていいのか・・・」

「家は欲しいけど、ローンが返していけるか不安」

「資料は請求してみたけど、どうやって業者を決めたらいいの？」

「大きな買い物だからなかなか決断が・・・」

「建てたはいいけど、満足できなかったら・・・」

そうですね。

家を建てるのはとても不安なことが多いですね。それもそのはず。

たいていのひとは、一生に一度の買い物ですし、しかも一千万円を上回る支出ですから、慎重になって当然だと思います。

絶対に後悔したくないですね。

「よい家を建てて、幸せな暮らしがしたい。」

「家づくりだけは失敗したくない。」

と願うのは、すべての人の共通の願いのはずです。

最近では、家づくりに失敗する人があとを絶ちません。なぜなのか。

普段は、あまり耳にできないような業界の知識や真実の裏話を、ほんの少し知るだけで家づくりの成功率と満足度はずいぶんと改善されるはずな

の・・・

時間にすれば、1時間くらいで身につく知識です。

本書の目的は、こうした知恵を身につけてもらい、ほんのわずかでもいいから、あなたの家づくりの手助けにさせていただくことです。そうならば、私が筆をとった価値がより大きなものになります。

あなたが本書を読み終えた後、家づくりに対する、先行きの不安や心配は解消していることは間違いありません。

また、家を建てたい。と思つてから実際に行動するまでの間、無駄な足踏みをし、無駄な時間を費やすことはなくなるでしょう。

あなたの家づくりのご成功を心より祈っています。

2011年 1月 吉日

松原 保嗣（まつばら やすし）

目次

はじめに

1

1章 家を建てる前に

6

2章 失敗事例・なぜ失敗するのか？

11

■事例1 ■ お金で失敗

12

■事例2 ■ 相談相手の失敗

18

■事例3 ■ 坪単価で失敗

23

■事例4 ■ 豪華なモデルハウスで失敗

28

■事例5 ■ 担当営業マンで失敗

32

■事例 6 ■ 設計で失敗 35

■重要補足 ■業者の種類と選び方 42

3章 建築業界の話 58

4章 絶対失敗しない成功のステップ 68

5章 よくある質問に答えます 102

6章 この本を書いた訳 118

おわりに 122

1章 家を建てる前に

家を建てる人には常に不安や悩みがつきものです。なぜそんなに神経質になるのか考えてみましょう。

それは、絶対に失敗は許されない、あなたの人生の1大イベントだからではないでしょうか？

あなたの大事な受験や就職の場合を、思い出してください。

失敗したらどうしよう。

やり直しがきかない。

そうなのです。家づくりも、やり直しがきかない一発勝負なのです。だから

ら不安や悩みが絶えないのは仕方ありません。

私でさえ、自分の家を建てるときはそうでした。業界にいるにもかかわらずですよ。

ですから、あなたがそうなるのも無理はありませんし、むしろ当然なので
す。

あなただけでなく、みなさん同じような悩みをもっています。

そもそも、ローンが組めるのかなー？年収多くないしなー。

家っていつでも、いくらくらいかかるか見当もつかないしなー。

完成までにどのくらいかかるんだろう？

ハウスメーカーだの工務店だの、業者ってどうやって比べるの？

おわりに

最後まで読んでいただき、ありがとうございます。

家をたてるということは、いろいろな意味で、本当に大変なことです。本書を読んで、そう感じた人も多いかと思います。

しかし、新たな気分で、新たな生活をスタートする、という気分になれる機会は人生の中でそう何度もありません。

マイホームが完成し、ピカピカの新居に引っ越し、家族みんなが笑顔になり、新たな人生がまた始まるのです。

是非とも、次のように考えてください。

「家」を買うのではなく、「その先の、家族の幸せな人生の舞台」を買うのだ。と。

そして、その後の幸せな生活を想像してみてください。

「ただいまー」

「おかえりなさいーい」

家族の元気な声が聞こえてきます。

きっと家づくりに成功し、我が家に満足しているご家族なのでしょう。
あなたにも、間もなくそんな日が来ることでしょう。

あなたの家づくりの成功を、心から願っています。

2011年 1月

よい家づくり研究家

松原 保嗣